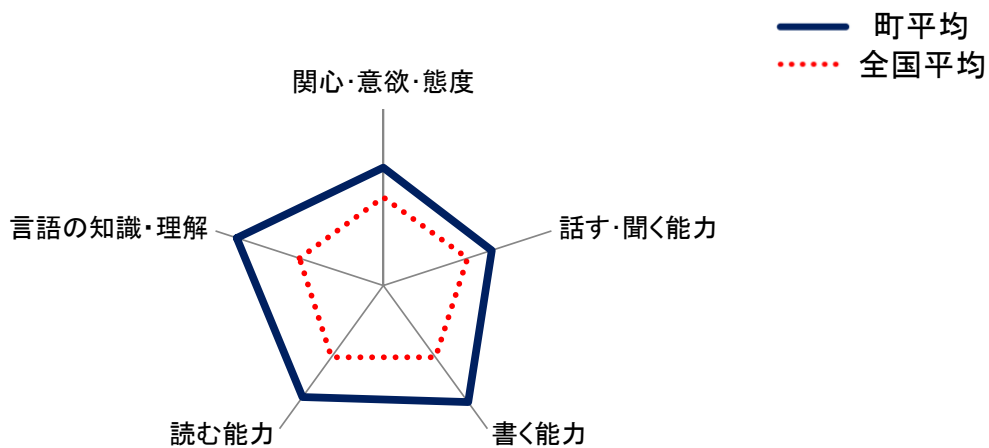


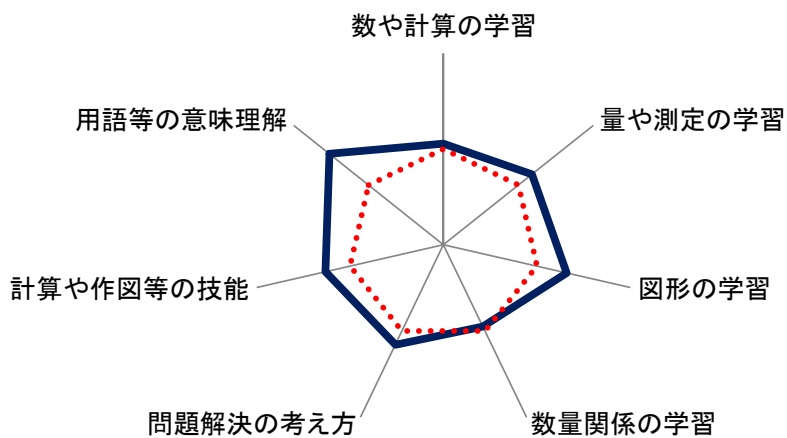
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

※ グラフはA問題とB問題の平均で表示

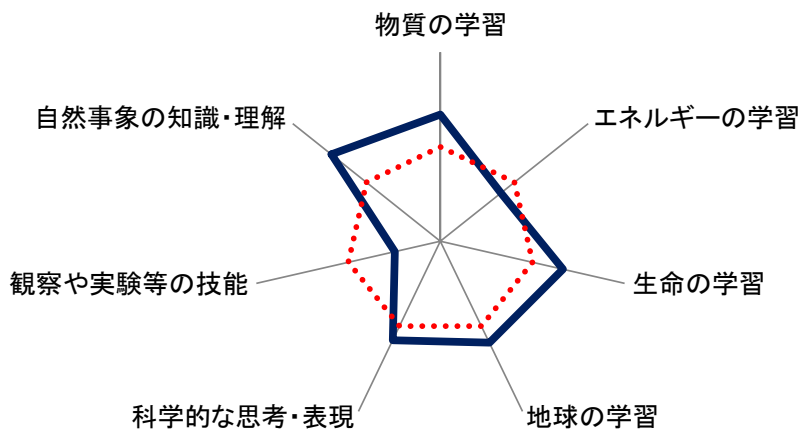
【国語】



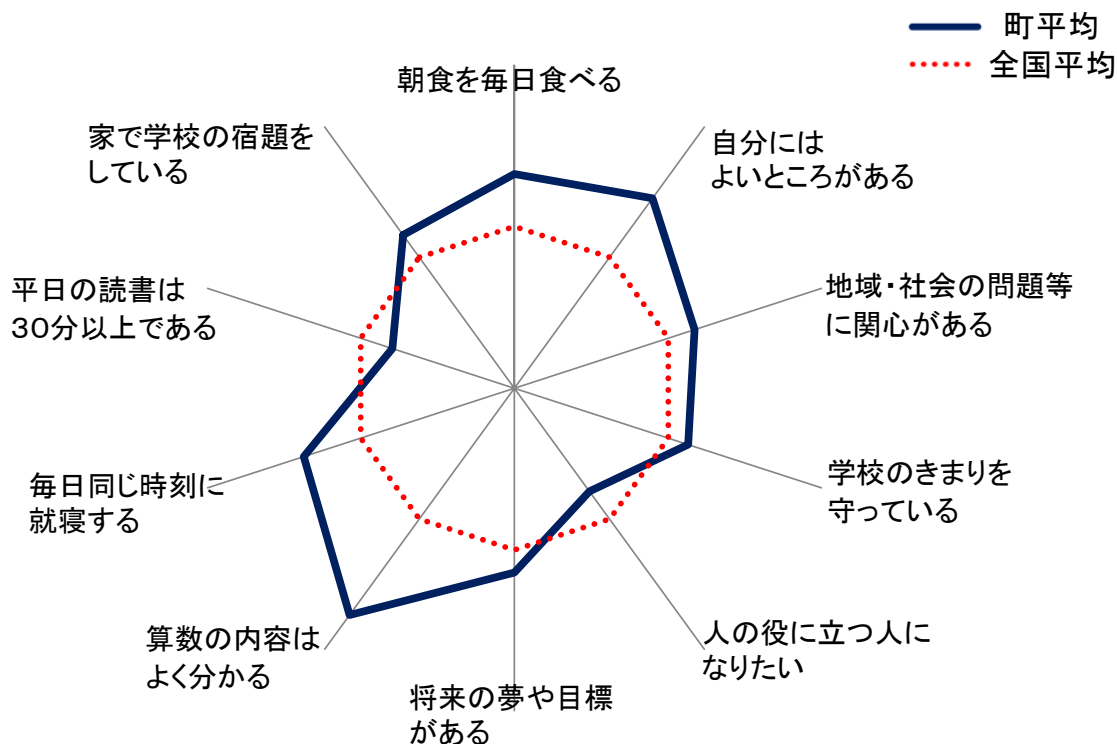
【算数】



【理科】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語、算数、理科の「知識・理解」の項目で全国平均を上回っており、個に応じた指導の成果が表れている。国語は全ての項目が全国平均を大きく上回っており、きわめて良好である。算数は「数量関係の学習」、理科は「エネルギーの学習」や「観察や実験等の技能」の各項目で全国平均を下回っており、今後、更なる学力の向上と定着に向けて、各教科において実体験を伴う活動を重視するとともに、知識と活用のバランスの取れた学力の育成を図る取組の推進が望まれる。

児童質問紙調査では、特に自尊感情、基本的な生活習慣に関する各項目で、肯定的な回答が全国平均を大きく上回っており、良好な結果である。特に「算数の内容はよく分かる」の項目が全国平均を大きく上回っており、授業改善が進んでいることがうかがえる。学習形態などの工夫により、児童同士で学び合う活動を充実させるとともに、更なる読解力向上のために、みきゃん通帳を活用した図書館の利用促進や家庭での時間の使い方など、児童一人一人に応じた読書活動の充実を図る指導が望まれる。